

郡上農林事務所の普及活動状況 令和5年6月30日現在

今月の重点活動

■だいこん 令和5年産ひるがの高原だいこんの出荷始まる

令和5年産「ひるがの高原だいこん」の出荷が6月15日から始まった。は種から収穫までの間、生育は順調に推移し、6月29日には目揃え会が開催され、多くの生産者が出席して出荷規格を確認し、高品質な「ひるがの高原だいこん」が出荷されるよう、徹底を図った。

農業普及課では、「ぎふ清流GAP」、「スマート農業」の推進や現地栽培試験を実施しながら、高品質なだいこんの安定出荷を確保できるよう支援していく。



【出荷されただいこん】

郡上の農業・農村を支える人材育成

■就農支援 農林水産FEST大阪で就農相談

農業普及課は、郡上地域での就農希望者を募集するため、6月24日「農林水産FEST大阪」に中濃地域就農支援協議会の構成員として参加した。この相談会は大阪駅に隣接する複合ビルの31階で定期的に開催されているが、当日は人の入りがやや少なく、相談者は4名にとどまった。このうち3名は郡上市での就農に興味を示されたことから、農業普及課から詳しい説明を行った。

今回訪問していただいた方へは今後も情報提供を行い、郡上市での就農に繋がるよう支援していく。



【就農相談の様子】

■就農支援 「郡上トマトの学校」施設説明会を開催

白鳥町にあるJAめぐみのが運営する就農研修施設「郡上トマトの学校」で6月17日に令和5年度第1回施設説明会が開催された。

今回は郡上市外在住の1組3名の参加があり、JAから研修概要等を、農業普及課からは郡上地域の産地概要を説明した。そして、郡上市担当者からは市の移住支援制度についても説明が行われた。さらに参加者は研修ほ場も視察し、肥料や水のやり方など日常管理についても説明を受けた。また、参加者に対して8月に作業体験を行う短期研修への参加を促した。

7月にも第2回説明会が予定されており、農業普及課では、関係機関と連携して対応し、研修生の確保を目指していく。



【研修ほ場で説明を受ける参加者】

郡上農畜水産物のブランド展開

■ひるがのフラワーサークル 出荷に向け勉強・出荷検討会を開催

高鷲地域で切り花生産（トルコギキョウ、ユリ）に取り組む7戸の生産者、農協関係者、市場関係者が集まり、6月30日に勉強・出荷検討会が開催された。

生産者ほ場では、関係者が生育状況を確認しながら生産状況の情報交換を行った。さらに、室内では出荷規格の確認や各市場の入荷状況や今後の見込み、競合他産地の出荷状況などの情報を共有するとともに、農業普及課からは今後の天候や病害虫対策等を含めた栽培管理について説明した。

農業普及課では栽培管理等の情報提供や調査試験を実施して、切花の安定した高品質生産を支援する。



【室内検討会の様子】

■南天 全体研修会を開催

郡上八幡南天生産組合は、6月30日に3年ぶりとなる全体研修会を開催した。当日は30名弱の会員が集まり、理事から昨年度の役員総会の概要、JA からここ数年の流通事情について説明があった。

農業普及課からは、あらかじめ依頼しておいた2名の生産者と「栽培のコツ全部お話しします」と題し座談会形式で栽培管理の説明を行った。栽培暦からは読み切れない「知恵」についてベテラン生産者に語っていただき、多くの情報を組合内で共有することができた。

郡上管内の南天出荷量はここ数年で激減しており、農業普及課では組合と関係機関が一丸となって、出荷量回復のための取り組み支援を行っていく。



【研修会の様子】